

### 【就職活動について】

Q：コロナ禍での県立広島大学の就職状況について、お聞きしたいです。

A：本学では、2年次からキャリア科目を開講するほか、大学教育実践センターと各学部・学科が協働して、学生の自主的・自立的・自律的学修を促す「学生支援型教育プログラム」を進めています。学生の皆さんが、早い段階から就職・進学意識に目覚め、自分の適性や能力を十分に発揮できる進路を見出し、将来を展望できるようにサポート体制を整えています。こうした支援を受けて各学生の皆さんで積極的に進路実現を目指し、コロナ禍における令和3年度末卒業生の就職率も3年連続となる100%（母数は就職希望者）を達成しています。

### 【学生生活について】

Q：入学した時からもっと資格取得、短期留学などもっと興味をもてるような工夫を考えて欲しいです。4年次ですがなるべく大学に行ける機会を作って下さると嬉しく思います。

A：本学では、資格取得に関しては、TOEIC及び中国語・韓国語等の語学資格の受験に対する助成金による支援を通じて学生の受験を促進しているほか、短期留学は令和4年度から再開して募集を行ってきているところです。

なお、4年次の学生は、就職活動や卒業論文作成など個人毎の行動が様々となり、全員を集める機会の設定は難しい状況にありますが、就職や卒業論文作成に関する日常的な指導や助言以外にも、様々な悩みに関する相談や支援体制を整えています。

本学としてもこうした様々な取組について更なる学生周知に努めてまいります。御家庭内でもこれらの積極的活用について話題にさせていただくよう御協力をお願いします。

### 【授業について】

Q：2021年度のオンライン授業については、感染が落ち着いていた時期も対面に変更せず実施されており、学生の利益が損なわれていたと感じています。  
今年度は、もう少し柔軟に対応していただけるとより安心して学生が勉学に集中できるのではと思います。

A：新型コロナ感染者数の増加に伴う国・県の対策やそれに伴う各種要請が出された場合は、その内容を適切に踏まえつつ、学生の大学生生活がより充実したものとなるよう柔軟に対応してまいりたいと考えております。

Q：①今年度は対面授業の拡充を強く希望します。  
②もうそろそろ対面授業を全面的に再開してほしい。大学生らしいことが大学で経験できていないと思う。  
③対面授業及び学内活動にて多くの人との関わり、地域活動への参加や企業との関わりが増えることに期待する。

A：本学では、令和4年度の授業は原則対面で実施するという方針であり、令和4年度前期（4/1～9/23）の対面・オンラインの比率は9：1の状況となっています。  
約1割の授業がオンラインとなりますが、そのうちの6割は3キャンパスの学生が同時に受講する全学共通科目としてオンラインにより開講しているものです。  
対面授業で開講する科目が約9割となることから、授業面では教員や学生同士の直接的な関わりが期待できるほか、これまでコロナ感染拡大防止のため実施ができていなかった、企業と共同で企画開発をする協働演習や、現地視察により実態調査を行うゼミナール等、フィールドワークを伴う行動型学修については多くの授業で再開しています。

### 【庄原キャンパスについて】

Q：スクールバスが廃止され定期券の販売があってもそこまで乗ることがなく使用のたびに支払いとなり経済的に厳しいとのこと。再開は無いのでしょうか。

A：割安の回数券を販売するなど、学生の負担を軽減する何らかの方法を検討中です。

**【三原キャンパスについて】**

Q：浮城祭 是非今年は対面で開催してください。

A：現在、対面開催での実施を検討中です。

**【後援会総会について】**

Q：総会のお知らせは、出来れば1ヶ月以上前位には、お知らせいただければ、助かります。  
直接出席は出来なくとも、オンラインで1度は出席したいです。

A：なるべく多くの皆様にご参加いただけるよう、早期のご連絡について対応いたします。

Q：三原キャンパスでも対面式での開催があれば良かった。

A：1会場に集合しての開催は、利便性から広島キャンパスとしておりますが、各キャンパスで分散型の会場を接続した開催も検討いたします。

Q：コロナ禍で学内活動が縮小している中、庄原キャンパスという立地もある中、学生助成費の予算が低く、否決としました。より学生全体に助成される計画と予算化を望みます。

A：広島、三原キャンパスと異なり、学生指導助成費のうち、庄原キャンパスはコピー機賃借料を大学予算から支出しているため、後援会予算からの助成は行っていません。（売店に設置のコピー機は、民間企業の所有物のため大学管理対象外。）そのため、他キャンパスと比較して、同予算が低くなっております。

資格取得助成費は、活動縮小前の実績を参考に、前年度より予算を増額しています。  
また、課外活動等助成費のうち、クラブ活動助成費と就職活動支援費は、前年度実績により予算を減額していますが、就職活動支援事業の助成対象となる3年生会員分は予算を確保しており、助成申請額が予算額を上回る場合は、予備費等から不足分を補填し、十分な支援ができるよう努めてまいります。なお、課外活動等助成費の予算減額分は、環境整備費や図書購入費に充てることで、学生全体に還元できるよう計画しています。